

科目区分	総合科目				
授業科目名	ヒロシマ学				
授業科目名 (フリガナ)	ヒロシマガク				
英文授業科目名	Hiroshima Studies				
担当教員名	布川 弘				
開講部局	教養教育				
開講キャンパス	東広島				
授業の方法	講義	単位	2	週時間	2
開設期(開講期)	1年次生 前期(1セメスター)	講義室	総L102		
曜日時限	月 3時限, 4時限				
対象学生					
教職専門科目		教科専門科目			
授業の概要	「ヒロシマ」とは何か。その意味を多方面から考える。				
授業のキーワード	原爆 ヒロシマ 被爆者 平和				
教養教育の中での この授業科目の 位置づけと 学習の成果					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション?ヒロシマとは (布川 弘) 2. 原爆被爆体験を語る (久保浦寛人先生; 原爆被爆者証言のつどい) 3. 原爆の人体への影響 (神谷研二先生; 広島大学原爆放射線医学研究所) 4. 韓国人被爆者・在外被爆者 (豊永恵三郎先生; 韓国の原爆被害者を救援する会) 5. 外国から見た原爆による爆撃 (P.A. ゴールズベリ先生; 広島大学総合科学部) 6. 初期核開発史研究から: マンハッタン計画の実像1 (市川浩; 広島大学総合科学部) 7. " 2 (") 8. 平和学をどう学ぶか (岡本三夫先生; 広島修道大学) 9. 文学作品にみるヒロシマ (植木研介先生; 広島大学大学院文学研究科) 10. 原爆による爆撃とその責任?歴史的視点から (布川 弘) 11. " 12. 原爆被害からの復興 (布川 弘) 13. ヒロシマの課題 (田中聡司先生; 中国新聞社) 14. まとめ (布川 弘) 15. ディスカッション 16. 試験 (布川 弘) 				
予習・復習への アドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1. カタカナの「ヒロシマ」とは何か、考えてみる。 2. 被爆の体験を聞いて、特に印象に残った部分を書き出してみる。 3. ヒト・ゲノムの不思議なはたらきと原爆の関係について、しっかり把握する。 4. 在外被爆者がおかれた状況について整理してみる。 5. 原爆投下について日本人以外の人々の意見をしっかり把握する。 6. 核爆発を科学的にとらえてみる。 7. 原爆開発に見られる技術的な問題点を整理してみる。 8. 平和学の多様性を把握する。 9. 文学が描いたヒロシマに触れ、自分で詩を朗読してみる。 10. 原爆投下の残虐性の意味をしっかりと考えてみる。 11. 原爆投下を正当化する根拠を見つめてみる。 12. 広島復興過程がどのような特徴をもっていたのか、整理してみる。 13. 未来に発するヒロシマからメッセージを考えてみる。 14. まとめ 15. ディスカッション 				
授業内容を理解する ために読むべき テキスト等	講義形式(講義中心;プリント、講義レジュメを配布) 使用する視聴覚教材の種類(ビデオ・DVD・パワーポイント等)				
既修得要件等授業を 受ける上での注意点					
メッセージ	「平和を希求する精神」は、広島大学の理念です。				